

1. 財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	年 度	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)	比較増減
資産の部				
現金及び預貯金		31,731	24,290	△ 7,441
現金		0	0	△ 0
預貯金		31,731	24,290	△ 7,441
コールローン		30,000	30,000	—
有価証券		170,983	189,056	18,072
国債		85,352	103,327	17,975
地方債		39,990	40,568	577
社債		44,612	44,059	△ 553
株式		531	601	70
外国証券		496	499	2
有形固定資産		1,054	745	△ 308
建物		91	91	0
建設仮勘定		1	4	2
その他の有形固定資産		961	649	△ 311
無形固定資産		22,791	21,495	△ 1,296
ソフトウェア		9,615	19,840	10,225
ソフトウェア仮勘定		13,165	1,643	△ 11,521
その他の無形固定資産		11	10	△ 0
その他資産		20,123	23,017	2,893
未収保険料		1,231	1,224	△ 6
再保険貸		152	243	91
外国再保険貸		273	38	△ 234
未収金		11,626	13,211	1,584
未収収益		99	106	6
預託金		748	700	△ 47
仮払金		5,992	7,492	1,500
繰延税金資産		16,414	16,297	△ 117
資産の部合計		293,100	304,902	11,802

(単位：百万円)

科 目	年 度	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)	比較増減
負債の部				
保険契約準備金		230,417	244,255	13,838
支払備金		46,995	51,700	4,704
責任準備金		183,421	192,554	9,133
その他負債		16,519	17,152	632
再保険借		817	1,259	441
外国再保険借		47	72	24
未払法人税等		870	425	△ 444
預り金		88	88	△ 0
未払金		6,445	6,227	△ 217
仮受金		8,250	9,079	828
退職給付引当金		2,481	2,579	97
賞与引当金		1,124	1,048	△ 76
役員賞与引当金		8	11	2
特別法上の準備金		361	399	38
価格変動準備金		361	399	38
負債の部合計		250,914	265,446	14,532
純資産の部				
株主資本				
資本金		20,000	20,000	—
資本剰余金		3,389	3,389	—
資本準備金		3,389	3,389	—
利益剰余金		18,756	16,242	△ 2,513
利益準備金		5,332	6,753	1,420
その他利益剰余金		13,424	9,489	△ 3,934
繰越利益剰余金		13,424	9,489	△ 3,934
株主資本合計		42,146	39,632	△ 2,513
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		39	△ 176	△ 216
評価・換算差額等合計		39	△ 176	△ 216
純資産の部合計		42,186	39,456	△ 2,729
負債及び純資産の部合計		293,100	304,902	11,802

## 損益計算書

(単位：百万円)

年 度 科 目	前事業年度 (自 2022年 4 月 1 日 至 2023年 3 月 31 日)	当事業年度 (自 2023年 4 月 1 日 至 2024年 3 月 31 日)	比較増減
経常収益	145,194	152,088	6,893
保険引受収益	143,866	150,670	6,803
正味収入保険料	143,760	150,540	6,780
積立保険料等運用益	106	129	23
資産運用収益	1,267	1,366	98
利息及び配当金収入	1,374	1,483	109
有価証券売却益	—	12	12
積立保険料等運用益振替	△ 106	△ 129	△ 23
その他経常収益	60	52	△ 8
経常費用	135,241	145,610	10,368
保険引受費用	99,270	107,697	8,426
正味支払保険金	73,419	81,339	7,920
損害調査費	10,086	10,421	335
諸手数料及び集金費	2,131	2,096	△ 35
支払備金繰入額	2,183	4,704	2,520
責任準備金繰入額	11,449	9,133	△ 2,315
その他保険引受費用	0	0	0
資産運用費用	—	—	—
営業費及び一般管理費	35,964	37,902	1,937
その他経常費用	6	9	3
その他の経常費用	6	9	3
経常利益	9,953	6,478	△ 3,474
特別利益	—	—	—
特別損失	41	56	15
固定資産処分損	7	18	11
特別法上の準備金繰入額	34	38	3
価格変動準備金繰入額	34	38	3
税引前当期純利益	9,911	6,421	△ 3,489
法人税及び住民税	3,520	1,629	△ 1,890
法人税等調整額	△ 714	201	916
法人税等合計	2,805	1,831	△ 974
当期純利益	7,105	4,590	△ 2,515

## 2. その他情報

### 2023年度 損益状況の対前期比較

(単位：百万円)

科 目	年 度	前事業年度 (自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月 31日)	当事業年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月 31日)	比較増減	増減率
元受正味保険料(含む収入積立保険料) (元受正味保険料)		146,580 (146,580)	154,718 (154,718)	8,137 (8,137)	5.6% (5.6)
保険引受収益 (うち正味収入保険料)		143,866 (143,760)	150,670 (150,540)	6,803 (6,780)	4.7 (4.7)
保険引受費用 (うち正味支払保険金) (うち損害調査費) (うち諸手数料及び集金費)		99,270 (73,419) (10,086) (2,131)	107,697 (81,339) (10,421) (2,096)	8,426 (7,920) (335) (△35)	8.5 (10.8) (3.3) (△1.6)
資産運用収益 (うち利息及び配当金収入) (うち有価証券売却益)		1,267 (1,374) (-)	1,366 (1,483) (12)	98 (109) (12)	7.8 (8.0) (-)
資産運用費用		-	-	-	-
営業費及び一般管理費 (保険引受に係る営業費及び一般管理費)		35,964 (35,874)	37,902 (37,825)	1,937 (1,951)	5.4 (5.4)
その他経常損益		54	42	△12	△22.6
経常利益 (保険引受利益)		9,953 (8,720)	6,478 (5,146)	△3,474 (△3,573)	△34.9 (△41.0)
特別利益		-	-	-	-
特別損失		41	56	15	36.2
特別損益		△41	△56	△15	-
税引前当期純利益		9,911	6,421	△3,489	△35.2
法人税及び住民税		3,520	1,629	△1,890	△53.7
法人税等調整額		△714	201	916	-
法人税等合計		2,805	1,831	△974	△34.7
当期純利益		7,105	4,590	△2,515	△35.4
諸比率					
正味損害率		58.1%	61.0%		
正味事業費率		26.4%	26.5%		
修正経常利益		12,929	6,400	△6,528	△50.5
E.I. 損害率		63.0%	67.9%		

(注) 1. 保険引受利益 = 保険引受収益 - (保険引受費用 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ± その他収支  
なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などでありませう。

2. 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料 × 100

3. 正味事業費率 = (諸手数料及び集金費 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ÷ 正味収入保険料 × 100

4. 修正経常利益 = 経常利益 + 異常危険準備金繰入額※

※異常危険準備金戻入の場合は、「異常危険準備金繰入額」はマイナスとなります。

5. E.I. 損害率 = (正味支払保険金 + 支払備金繰入額 + 損害調査費) ÷ 既経過保険料 × 100

なお、地震保険および自動車損害賠償責任保険を除いております。

## 種目別保険料・保険金

### 元受正味保険料

(単位：百万円)

種 目	年 度	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)			当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)		
		金 額	構成比	増減率	金 額	構成比	増減率
火 災		8,513	5.8	4.8	8,516	5.5	0.0
海 上		—	—	—	—	—	—
傷 害		9,486	6.5	3.1	9,821	6.3	3.5
自 動 車		128,580	87.7	3.4	136,380	88.1	6.1
自動車損害賠償責任		—	—	—	—	—	—
合 計		146,580	100.0	3.5	154,718	100.0	5.6

### 正味収入保険料

(単位：百万円)

種 目	年 度	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)			当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)		
		金 額	構成比	増減率	金 額	構成比	増減率
火 災		4,594	3.2	△ 2.3	3,757	2.5	△ 18.2
海 上		0	0.0	—	—	—	△ 100.0
傷 害		9,617	6.7	1.3	9,648	6.4	0.3
自 動 車		128,194	89.2	3.4	135,861	90.2	6.0
自動車損害賠償責任		1,353	0.9	△ 1.1	1,273	0.8	△ 5.9
合 計		143,760	100.0	3.0	150,540	100.0	4.7

### 正味支払保険金

(単位：百万円)

種 目	年 度	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)			当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)		
		金 額	増減率	正味 損害率	金 額	増減率	正味 損害率
火 災		1,262	131.9	33.6	1,624	28.7	51.3
海 上		△ 3	—	—	△ 19	—	—
傷 害		4,517	37.2	51.6	3,627	△ 19.7	42.1
自 動 車		66,326	17.7	59.0	74,679	12.6	62.1
自動車損害賠償責任		1,316	△ 1.0	97.3	1,428	8.4	112.1
合 計		73,419	19.4	58.1	81,339	10.8	61.0

## 単体ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
(A) 単体ソルベンシー・マージン総額	78,568	77,608
資本金又は基金等	35,042	34,854
価格変動準備金	361	399
危険準備金	156	163
異常危険準備金	41,052	40,974
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)	49	△ 244
土地の含み損益	—	—
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	1,905	1,460
(B) 単体リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2}+R_5+R_6$	19,895	21,142
一般保険リスク (R <sub>1</sub> )	16,572	17,268
第三分野保険の保険リスク (R <sub>2</sub> )	0	0
予定利率リスク (R <sub>3</sub> )	159	167
資産運用リスク (R <sub>4</sub> )	2,339	2,537
経営管理リスク (R <sub>5</sub> )	435	463
巨大災害リスク (R <sub>6</sub> )	2,700	3,200
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率 [(A)/(B)×1/2]×100	789.8%	734.1%

注. 「単体ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第86条（単体ソルベンシー・マージン）および第87条（単体リスク）ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出された比率です。

### <単体ソルベンシー・マージン比率>

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の前測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・こうした「通常の前測を超える危険」を示す「単体リスクの合計額」（上表の(B)）に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（すなわち単体ソルベンシー・マージン総額：上表の(A)）の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたものが、「単体ソルベンシー・マージン比率」（上表の(C)）であります。
- ・「通常の前測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
  - ①保険引受上の危険（一般保険リスク）  
（第三分野保険の保険リスク）：保険事故の発生率等が通常の前測を超えることにより発生し得る危険（巨大災害に係る危険を除く）
  - ②予定利率上の危険（予定利率リスク）：実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
  - ③資産運用上の危険（資産運用リスク）：保有する有価証券等の資産の価格が通常の前測を超えて変動することにより発生し得る危険等
  - ④経営管理上の危険（経営管理リスク）：業務の運営上通常の前測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの
  - ⑤巨大災害に係る危険（巨大災害リスク）：通常の前測を超える巨大災害（関東大震災や伊勢湾台風相当）により発生し得る危険
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（単体ソルベンシー・マージン総額）とは、損害保険会社の純資産（社外流出予定額等を除く）、諸準備金（価格変動準備金・異常危険準備金等）、土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・単体ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。